

2018年5月10日

## これまでに NPPV の治療を受けた患者さんへ 【過去の治療データ／検体(血液、尿)の調査研究への使用のお願い】

松山赤十字病院呼吸器内科では「急性期 iVAPS の換気維持能について」という臨床研究を行っております。この研究は、「急性期病院で iVAPS という NPPV モードを使った患者さんの呼吸が安定していたか」を調べることを主な目的としています。そのため、過去に NPPV 装着の治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は松山赤十字病院医療倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究期間 : 2018年05月10日 ~ 2018年06月10日まで

対象調査期間 : 2014年08月01日 ~ 2018年04月30日まで

- 今回の調査研究の対象はこれまでに NPPV 装着の治療を受けた患者さんのカルテです。
- 過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- 使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は松山赤十字病院に帰属し、あなたには帰属しません。
- この調査研究は、松山赤十字病院呼吸器内科の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

### 【問い合わせ先】

松山赤十字病院 呼吸器内科 副部長

研究責任者：梶原 浩太郎

TEL : 089-924-1111(代) FAX : 089-922-6892(代)